

IPS 5006 (25 April 46)

(1)

(72)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

REQUEST FORM

1945

INCIDENT - ACCUSED

JUDGE ALBERT WILLIAMS

5006

The undersigned requests the consideration of Document # 5006
(describe):
*Extracts from the record of evidence of NX 42191 Pte K. BOTTERILL 2/19 Inf Bn
as to treatment of POW at SANDAKAN & RANAU POW Camps in BORNEO
(Original record of evidence also herewith)*

for introduction in evidence (specify purpose) *treatment of POW.*
(Class "B" offences)

Thomas F. Morrison
It-606
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION
AUSTRALIAN DIVISION
Staff Attorney

25 April 1946

TO THE DOCUMENT OFFICER:

The above document has been approved for processing by you with changes as follows:

*70 copies & stencil
available*

Albert Williams
Judge Albert Williams
Document Control Attorney

By _____
Secretary

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

29 July, 1946

TO: DUPLICATION CONTROL

Attached is Document No. 5006 for Morane.

Arrange for reproduction of _____ copies in English and 90
copies in Japanese as follows:

Ditto

MBA

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

DOCUMENT DIVISION

8-2 1946

MIMEOGRAPH SECTION is requested to _____ DOC. NO. 5006
requested by Marnie in Jap, No. of pages _____
No. of copies 90

COMPLETED:

Date 8-2 Signature BK

VAULT:

Date 8/5 Signature LB

This receipt with two copies of this document attached to go to
Room 347, Lt. Alexander.

ケース・ボトリ

私ハ一九四二年二月十五日ジカゴポーランド海軍エリヒンギニ
監禁サレマシタ

一九四二年六月私ハB部隊ト一緒ニ「ウビル」デ「ボルネオ」ニ向ケ「モズ」
ヲあつシマシタ。吾々ハ「サンカ」ニ上陸シ其地ノ收容所ニ一九四五年
二月迄居リマシタ

「サンカ」カン「デ」ノ食糧ハ一九四三年「クニス」マス頃迄ハ比較的「ヨカ」タノ
デスガ其ノ後「重」クナリ虫シタノデス。一九四四年ノクリスマス「ス」ノ御馳
走ガ恐ラ「一番」ノ御馳走「ム」タノデスガ「ソ」レニ出タノハ「米」ト「玉蜀黍」
ニ乾魚ヲ混ゼ「タ」リ「M」キ「V」罐ニ「半」ガ「ト」飯汁「デ」シタ。普通ハ
私達ニ支給サレ「ノ」ハ「煮」タ「ク」タ「ピ」オ「カ」ル「米」ヲ「小」サ「十」罐ニ「杯」ソ「レ」ニ「M」キ「V」
罐ニ約四分ニ三位ノ野菜ニ「タ」ビ「オ」カ「ル」量如ヘテ作「ッ」タ「シ」テ「ム」タ「ノ」デ「ス」
朝食ハ普通「米」デ作「ッ」タ「飯」口「糧」ヲ「書」食ニ支給サレ「タ」食ハ「糖」
炊「ク」支給サレ「テ」平「マ」シタ。傍「午」ニ「ッ」タ「ノ」當時約百三十三封「度」マ「ア」
夕「私」ノ「体」重ガ「救」助サレ「タ」時ハ八十四封「度」デ「シ」タ。收容所ノ食糧
ハ私達ノ健康ヲ保持スルニ「ト」モ「充」分「デ」ナ「ク」何人カハ「餓」死「シ」タ
デス。終リノ頃ハ一日ニ「米」七十五瓦「シ」カ「支」給サレ「テ」カ「ッ」タ「ノ」デ「ス」
一方「サンカ」ニ在「ッ」テ私達ハ飛行場ガ働「キ」牛「タ」デスガ加ヘテ

Not used

No. 1

收容所、廻リノ道路ヤ飛行場ヘ行ク道路ヲ二三造リ
 シテ牢マシタ。西達ハ芝園、仕事ヤ薪割モシタノデス。熱帯
 濱瘍ガ非常ニ厄介アリシマラヤロデハ一日七人ノ割合デ
 死シテ牛マシタ。病人ヲ治療スル衛生材料カナカッタデス。
 私ガサンガカンヲ去レシハ既ニ約四〇〇人ノ死シ者ガアリ最終
 ノ一團ガ去レシハ最初收容所ニ居タ九〇〇人ノ中凡七〇〇人モ
 死シテ牛マシタ。

私ハサンガカンデ晝夜四十日間 監房ニ入レシ其ノ間毎日毆
 打セシマシタ。監房ニ入ル間ハ私ハ顔ヲ洗フコトモ髪ヲ剃ルコトモ
 許サズ七日間食物ナシコトモアリマシタ。亦私ハ圍ヲ破ラテ
 飛行場ノ外ヘハヒオカノ根ヲ採リニ行クヲ爲シ十二日間投監
 サレコトガアリマス。採リニ行ッテ帰ラテ来ル所ヲ朝鮮人ニ捕ラ
 ノデス。私ガ最初ニ投監サレタハ病人ニ食ヲ與ヘルヲ爲シ経理部ノ
 倉庫ニ侵入シタ爲デシタ。私ハラポラプ(前掛ヤウヤウ)ノ
 他人全然衣類ヲ着ヤラセマシデシタ。毎朝入監者ハ外ヘ
 出サレテ日本人ガ体操ト言フデ年ヲノラマラサレマシタ。之ハヒドク
 毆打スルコトタツタノデス。此キ叫ビナガラ他人一監房迄送シ

No. 3

一貴ハナレバナライ俘虜モアリ或シ者ハ打倒サレシタガ蘇生サセ
 シタメニバケツデ水ヲ打掛ケルコトデシタ 私が監房ニキク時ニハ也
 ニ十八人監禁サレキマシタ 監房ハ凡ソ九呎ニ十八呎デ私達全部
 が一緒ニ横ニシテトハ出来マセンデシタ 私達ハ近ク間ヲ詰メテ
 横ニシトキデモ四人ハ坐ッテ居ナレバナラカシクノデス
 約五名ノ濠洲兵カ或シ期間ノ禁錮ノ宣告ヲ受ケシタ 勿ク
 大尉ガ此ノ人達ニ此ノ刑ヲ課スルヤウ請求シタノデス ソレデ私ハ時
 ニ八日ニ三四回モ監房へ彼等ヲ見ニ行ッテマシタ 彼等ニハ各自ニ
 刃布ガ一枚宛渡ッテキマシタガソレハ入監者ノ中ニハ死ニカケキレ
 着ガアリ毛布ヲ渡シ居コナレバ入監者全部ガ同シヤウシト思
 ハレタカラデシタ 五名ガ監禁サレキマシタ監房ハ長サ約二十呎 幅約
 十呎デ日本兵ノ衛兵所ノ側ニアリマシタ 收容所ノ監房ハ全部
 デミツアリマシタガ何レモ高サハ五呎位トナク入監者ハ真直ガニキツ
 コトガ出表ナカッタケデス 兵ノアンネア、アング、ソレニ「バン」ヲトキ
 曾ハ收容ノ全期間ヲ禁錮サレシコトニ宣告ヲ受ケタケデスガ約
 三月トシテ此等三名ハ死シマシマシタ 一八四四年中ニハ「アンネア」ト

アンダーソンハ獄中生活ノ方ガ獄外生活ヨリ長カッタノデス。最
 初ノ入獄ハ二十日間、デソノ間ハ私モ彼等ト一緒ニ入獄シテマシタ。
 次ハ四十四日間ノ入獄、続キテスモヤ約六週間ノ入獄シタノデス。彼
 等ハ出獄スレトホ録シレシレ出獄トモシレトガ殆ドアリマセンデタ。
 彼等ハ病人ニ食ヲ與ヘルタメニ総理部ノ倉庫ニ侵入シタ。康デ告
 発サレタノデレタ。彼等ハ兵ハブレックニ食物ヲヤッタデス。ブレックハ若
 使等ノ助ケヲ受ケテハナカッタナラバ死ンデ居タデセラ。併シ後ニテ
 アラツクハ死ニマシタ。彼ハ当時赤痢トモラヤデ苦ンデホタノデス。
 殴打サレタ病人カノ監者ハ非常ニ弱ニテ居リ病氣デレタ。病人
 ハ他者ヨリ一層ヒドク殴打サレマシタガ其ノ理由ハ日本兵ガ病人ヲ嫌
 ツテ居リ病人ハ厄介者トシテキタカエデス。韓ヤ銃床デハ兵ヲ
 サレタノデスガ、西ニ倒レシト朝鮮人が蹴リテ、朝鮮人ハ時ニ罪
 カヲ蹴ツタリスレデス。折々朝鮮人ノ命ハ命テ是ヲ付ケ、安
 立タサレ朝鮮人達ハ膝ヲ上ゲテ罪カヲ蹴ルデス。倒レシト蘇生ス
 迄水ヲ打テ料ケラレ蘇生スレバ亦殴打ガ続クデス。
 我ハ兵ノダイリシグトシテラ知ツテキマス。彼ガ叩キ、ムサレタ時ハ私ハ
 收容所ニキマデス。彼ハ最初飛行場デ叩カレシレハ、私ガ實際ニ目
 撃シタノデスが更ニ監房ニ行ツテカヲモ叩カレタノデス。此ノ当時ハ

俘虜達ハ全然何モ患イコトヲシナイニ毆ヲタノデス 一人ノ俘虜ガ
自分ノ額ノ汗ヲ拭ク意ニ起上ツタリスト衛兵ガヤツテ来テ致達全
クヲ懲列サセ細長イ答テ背中ヲ一杯ニ叩クト云フ風デシタ

「グーリントン」ハ若シ何モシナイニ毆ツタラ毆リ返レテヤルノ事ト云ツテ
ナシタガ此ノ時ニ何モシナイニ毆ラシマシタテ彼ハソノ衛兵ヲ押退ケ

シタ 又ガ也ノ衛兵ガ全部ヤテ来テグーリントンヲ打テノメシテ
打ツタリ蹴ツタリシタノデス 彼ハ更ニソノ膝ノ下ニセ太ヲ入レテ坐ラサレ

シタ

…… 赤島ハ病人ヲ作業ニ無理ニ引キ出シタリシ時ニハ病人ヲ
麻床カラ引キズリ出シサヘシタノデス 彼ハ作業隊ノ人達ヲ毎日何
十人トナク毆ツテキマシタ 此ノ人達ハ此ノ十取扱ヲ受ケタテソノ結
末沢山ノ人ガ死シタノデス

No. 5
五四五年二月、私達ハ三日間ノ豫告ヲ受ケ、ラナウヘ向ケ一日ニ
五十名宛「サンガサン」ヲ出発スルコトニナリシタ。 全部デハ三百五十名
ノ渡洲人ト百十人ノ英國人が居リマシタガ私ハ右三番目ノ組デシ
タ。私が出発シタ時ニハ既ニソノ組ガ殆ツク傷テシタ。 私達ト
一緒ニ出発シタ日本兵ハ中(公尉)ガ一名、曹長ガ一名、伍長ガ一名、
下士官勤務文長ガ一名、ソレカラ兵ガ約十五名デシタ。 私達ハ

自分達、衣類・毛布・敷物・食糧等ノ外ニ日本軍ノ彈藥ヤ米ヲ
 運搬サセシメタ。私達四十名が三日間ノ食糧トシテ僅カ六本ノ胡瓜
 シカガダデスが私達ハ少量ノ米ヲ所持シテ午マダノデシレ命ガケ
 ハ繋ゴマシタ。夜ノ限テ、行軍ガ出来ズニ落伍シテ着モアリシガシ
 ハ直ガ射殺サレシメシ。私ハ四人ノ傍旁ガ落伍シテ射殺サレタノヲ見タ
 コトガアリマスガ射殺シタハ日本軍ノ曹長デシタ。或ハトキ一人ノ
 隊軍ノ軍曹ガ行軍ガ出来ズ倒レテシマヒシタ。彼ハ頭カ変
 ニナリテキルヤヤガワリングトシ「曹長ヲ掴ヘテ自分ヲ射殺シテくれト
 頼ニデキマシタ。日本軍將校ハ出来ル丈多ク傍旁ヲ救ハウトシ
 テ午マシタガ軍曹ハ脚氣ニ罹リテ余リニモ衰弱シテ居リモウシ
 以上ハトモホリマシデシタ。彼軍曹長ニ「彼ヲ射殺スル」許可ヲ
 出スマウ頼ンダデシタ。ワリングトシハ許可證ヲ書キマシタ。スト
 日本軍將校ハ彼ニ「拳銃ヲ渡レ軍曹ヲ射テト云ヒ」ワリングトシ
 ハ喜フ通りニシマシタ。コノ出来事ハヤンダカン「ゴラ十六新聞」ニ
 此事ヲ起ッタデス。軍曹ハ終始モガヤ事トシ全ク氣ガ在ラシマ
 ヒマシタ。彼ハ腰カラ下ハ麻痺シテ午タノデス。彼ハ運ンデハ貴フ
 マイトレテ彼ヲ助ケヨウトス人達ニ抵抗シテ午タノデス。

No. 6

5006

私達がラナウへ後一週間ト云フ所へ来タ時ニ大キナ山ヲ一ツ
越シマシタ。ソノ山ヲ越エテ午ノ時ニ濠洲兵ガニ名、一人ハ兵ノ
ハンブリスデ、他ハ名前ハ思ヒ出セマセンガ一人、伍長ガ落伍シ
マシタ。彼等ハ脚氣ト、マラリヤト赤痢ニ罹ラテ居リ行軍スルハ
余リニモ衰弱シ切テ午マシタ。日本軍ノ兵卒ガソノ伍長ヲ
射殺シ、日本軍ノ軍曹ガハンブリスヲ射殺シマシタ。アム山ノ
中デハ私達ハ全部デ五名失ヒマシタ。

行軍ノ途次、衰弱シテ行軍不能ニシタ者ガ落伍シタ。又
吾々が行軍ヲ統テキルトスグ後デ銃聲ト口論ノ声ヲ聞クノ
デシタ。ソノ時ハ必ズ私達ノ後ニ日本人ガ居リ射撃シタ
ハ彼等ダッタデス。死体ハ見掛ケマセンデシタガ私ハ屢、私
達ノ前ニ行軍シテ行ツタ組ノ誰カ、射殺セラレ屍具ヲ嗅ギ出
スコトガ出来マシタ。

私達が「ラナウ」ニ到着シテ後私ハ後カラ「栗」部隊ト日本軍ノ爲
ニ米ヲ運ブ濠洲兵派遺隊ノ一員ニ如ヘラレニ十六哩後方ノ「サン
ガカン」迄派遺セラレタデス。此ノ道程ハ往キガ三日デ帰リガ二日デ
五日カンノデシタ。「ラナウ」ニ行軍シテ来ルニツノ組ガ此如ニ帯在
シタノデスが私達が米ヲ運シタリハ其等ノ組ト日本軍衛兵ニ
食バヤル意ダッタデス。私達ハ各自四十五封筒ノ米ヲ一袋背負

No. 7

テ山々邊に越ヘテ途バトシバナラカツタデス。條件が非常ニ
 悪カッタデ其結果カウシテ水ヲ運ンデホリ間ニ数名ノ者が死セシ
 マシタ。私達ハ衰弱シタ人達ハ助ケテヤレコトニシテキマシタが實際ソ
 ノナ人達ノ多クヲ私達ハ收容所迄運ンデ戻ッダノデシタ。已
 時水ヲ運搬シキマシタ兵ノ「ビョー」ハ「ラウ」カラ九哩ノ所テ射タレ兵
 ノ「ア」バ「ト」ト人ノ血長ハ「ラウ」カラ二十哩ノ所テ銃剣ヲ刺サ
 レシタ。彼等ハ余リニ弱シテ行軍が出来ズ落伍シテノデス。
 銃剣ヲ刺スヲ私ハ日撃シマシタが彼等ハ刺サレテ死ニシ
 西ニ倒レキマシタ。ソノ血長ト私ハヨク農園ニ「カ」ビ「カ」ヲ採リニ
 行ッテモ「デ」ス。「カ」ビ「カ」ヲ料理スル旨イ御馳走ガ出タモ「デ」
 ソノ善ニ私ハ收容所「中」テハ一番丈夫ノ方デシタ。此ノ刺殺後
 射殺ガ行ハシタ時「カ」ビ「カ」上ニ倒レタ儘射タナイデ下「カ」ビ「ト」
 「カ」ビ「カ」ヲ両手ヲ擧ゲテキマシタガソレデモ射タレ「カ」上ニソノ儘置
 イテ行カレタ「デ」ス。

「サン」タ「カン」ヲ脱シタ私達ノ組五十名ノ「カ」ヲ「ラウ」ニ首イタ「ハ」
 三十七名デシタ。此ノ行軍ハ毎日「カ」銃「カ」ニ先ヲ急イダ「ハ」デ
 スガソレデモ十七日カ「リ」マシタ。私達ト一緒ニ来タ日本兵達ノ
 健康状態ハ頗ル良好デ行軍中私達ヨリモ多クノ食料ヲ得「タ」

マリヤニ二名バカリ罹リマシタガ後方ノ前哨ノ所ニ残サレタ
丈夫ニテアカラセテ来マシタ 私ハ此ノ人達ガ来ルヲ見マシタガ
ソレハ大凡ソ六通間モ経ンテカラテシタ

ラノウデハ死セ着ガ沢山アリマシタガ、多ク人飢餓・赤痢・マ
リヤノ脚氣等ニヨルモテシタ 私達ノ食糧ハ米デ停滯達ノ体
置ハ殺及殺少シテ行ツタケス

停滯達ハ兵隊打ナシマシタ 永井大尉ガ日本軍ノ收容所責任者
タ 或時兵隊ノ「ガ家鴨」船ト云ツタ洋名ノ朝鮮人ノ警備員ト一
ノ看護兵ニ銃剣デ刺サシマシタガ彼野ハ死体ヲ蓋シテ行ツテ銃剣
ニ油ヲ塗りナガラ幣ヲ来マシタ 二十日ノ内ニ「ムン」ト「アレ」ト「グリス」
ソレニ私ノ四人ハモウ一夜行軍シテ「クチ」ニ行クコトニナツテ来マシタ此
行軍ハ相立丈夫デアレドゴトガ必要デシタ ソレテ私ハ日本兵ノ一
ニ炊事場ハ米ヲ運ブニ連レテ行カレタコトガアレド日本軍ノ米ノ置場
ガ何処ニヤカラ知ツテ来マシタカラ此ノ他ノ三人ニ私が米ノ置場ヲ見附
ケタコトヲ語レシ其処ニ大豆ガアルカモ知レヌト云ヒマシタ
夜ニテカラ彼等ハ其処ヘ行ツテ米ヲ一袋取り私ハ私達が更ニ其処デ
9 見付ケタ「バスケット」ノ一箱ノ口ヲ開ケタケス 私達ハソノ置場デ何カ
No. ラシタ形跡ヲ残シマシデシタ 日本人ハ決シテソレトハ分ラナカッタデヤ
唯私達ハソノ食糧ヲ四ツ分ケテ私達三人ハ自分達ノ分ヲシマシタル中ニ高

シテ置キマレドガハレハ自分、外ヲ取、下ニ隠シテ置イタデス。私ハ
 身ノ外ヲ病人ニ與ヘテマシタ。日本人ガビスケトノ戦ヲ見付テ
 誰ニカト尋ネマシタ。私ハ「ハレ」ニ自分ノカト言フヲテ前ハ
 殺サレコラフ言フハイヤイト事ナシト言フタデスガハレハ
 遂ニ食糧ヲ盜シタコトヲ認めマシタ。衛兵所ノ外側ニ縛リ付テ
 レマシタ。私ハ夜ニテ行ッテ解イテヤシコラフ一縷ニ逃亡セヨウト言フタ
 デスガ、午後五時頃彼ハ連レテ行カレテ鋭劍ヲ刺サシマシタ。私ハ
 彼處ニ見付ケヤウト探シテマシタ。私ガ見付カリマシタ。私ハ
 「ハレ」ノ友人ヲ見テガホ、モクム、友人ヲモアリマシタ。私ハ友人
 ニヨク米ヲ持ッテ来テ見レマシタ。モクムハ「ハレ」ノ情報ヲ知ッテ
 来テ斗タデス。

「ハレ」ノ友人ハ殴打ハ毎日、出陣事デシタ。前ニ名ヲ尋ゲタ朝野
 人、全部ガ此ノ殴打ニ関係シテマシタ。

六月ニ萬ニノ其團カヤ、テ来タ時ハタツタ四名ノ激洲兵トシタ
 英國兵ガ残ツテモシタ。他人達ハ全部病氣ア死ニシタ
 カヌハ殺サレタリシニマシタ。一九四五年一月ニ全部テ四名
 ノ俘虜ガ、サンガカンヲ殺シタ。私ガ六月迄ハ生き残ツタハ
 僅カニ六名カケテ大抵ノ人ハ飢餓、マラリヤ、赤痢ア死ニシタ
 タリデス。日本軍ノ衛兵達ハ肉ヲ食、血ヲ飲、骨ヲ食、糞ニ取リ

No. 10

5006

會員健康状態良好トシタ。ニニマリヤニ罹リマシタガ栄養不良
デ悩ンデ居タ者ハアリマセンデシタ。生キ残ッテ居タ六名ハ「モクソム」「グリスト」
「ステー」軍曹「ソレ」英國人ガニ名（ボヂス「ト」フロスト）ト私デシタ。此ノ六
人ノ内、現在生キ残ッテ居ルハ「モクソム」ト私ガケテス。

一九四五年六月八日、四〇名ノ別ノ集團ガ「ヤンカン」カラ「ラウ」ニ到
着シマシタ。「ジョート」モ停務ノ人トシテ此ノ集團ノ中ニ居タノデス。此ノ
集團ガ「ヤンカン」ヲ出発シタ時ニハ六〇人キタノデスが残りノ者ハ行
軍中ニ死ニシタノデス。七月ニ私が逃ニシタ時「ハ」此人達ノ中「凡ソ」一〇人
位未ダ生キ残ッテ居マシタガ其ノ時ニ彼等ハ一日凡ソ七名位ノ割合デ死ニシ
テキテソレハ至ニ「餓死」ダツタノデス。彼等ハ一日ニ「少サナ」コップニ重湯
ヲ一杯刻支給ヤレテ居リ「飯」ハコップノ底ニ一吋位モ「デシタ」。又ハ十分ニ
「アツク」デス。日本人ハ自分達デハ一日ニ六〇回「火」攝ッテ居リ、其ノ他ニ
ヨク「タバコ」カ「肉」卵「薩摩」薯「芋」モ攝ッテ居テ「栄養」不良ノ徴候モ
アリマセンデシタ。死ニシタ停務ノ衣類ハ脱キ取ラセ「日本人」ハソレヲ土
民ニヤツテ自分達ガ食ニ「食糧」ト交換スル「デシタ」。私達ハヨク「衣類」ヲ
日本人ニヤツテ「襪」ヲ「ハ」コップ一杯ノ米ト交換スル「カ」バナ、「米」ト交換スル「カ」
シ「ク」モノ「デス」ガ「ソレ」ガ「日」本人「ニ」カ「ルト」同「ジ」品物「ニ」對シテ「土」民「カラ」バナ、「六十」回
モ「獲」キ「上」ヤル「コト」ニ「ル」デシタ。又「布」モ取ラレテ「土」民ト交換シタノデス。
私達ハ一新ノ非常ニ「少サナ」ノ小屋ニ住ハサレテ居マシタ。熱帯潰瘍ガ

No. 11

猖獗ヲ極メテ吾マシタガ何病ニヨラズ予当スル衛生材料ハ全クナク
ノデス

ニ名ノ豪洲人ナリトクヤリハ「ラウ」カラ逃之シヨウトシマシタガ
捕ヘシテヒドイ目ニ邁サレシタ。丸太ヲ後背ノ脚ノ下ニ懸ク下ニ
置テ日本人ガソノ上ヲ踏ミ痛ミノ餘リヒーク言ハマタノデス。此ノ
人達ハ亦食ヲ與ヘラズ日本人ハ鋭剣ノ先ヲ後背ノ両眼ノ間ニツキ付カ
クノデス。日本軍ノ軍曹ガ私達ニ「クヤリ」ヲ小屋ニ連テ行ケト言
タ時「ハ」ケヤリハモウ殆ド死ンデホタデスガ小屋ニ歸リテ十分モシテ
死ンデシマシタ。彼ノ首ハ鎖ガ巻カテ居リ衣類ハ着テ耳ママン
デシタ。彼ハ二週間ノ間、屋外ニ置カレ食物ハ殆ド與ヘラズ進リスザリ
ノニ民ハ誰デモヨク見ユルヤウニシテ置カレタノデス。此ノナニテ其ノ間
ニ彼ノ健康ガ衰々行ツタノデシタ

一九四五年七月七日ニモクムトアングーソント「ジョート」ト我ハ「ラウ」ヲ
逃セシマシタ。私達ハ餘リ衰弱シナイ中ニ逃ゲタカッタノデス

ケース・ボツリ

私ハ一九四二年二月十五日シガバレンデ各書手リーモシキニ
監禁サンマダ

一九四二年六月廿八日神阪ト一結ニウビ九デボシホニ向ケモシ
ヲ私シマシタ。吾ハサンカシニ上陸シ其九ノ収容所ニ一九四二年
二月迄居リマシタ。

サンカシデノ食糧ハ一九四三年ノクニスマヌ頃迄ハ比較的ニヨク
デアが共ニ後更リナリ出シタノデス。一九四一年ノクリスマスノ郵
走カ恐ラリ事ノ郵取走カツタ人ガソレニ出タノハ状ト玉馬乗
ニ乾魚ヲ泥ゼタラM.V.Vニ載セキト取汁デシタ。普通ハ
私達支給サレノハ蒸タノヒオカニホラハナナニ杯ソレニM.V.V
罐約四合ニ位野武ニカヒオカヲ少量シテ作ッソシエノカツタ人
刺食ハ普通米デ作ッテ蒸籠口煙ヲ蓋シテ支給サレノ食ハ
炊ヲ支給サレテ年々マシタ。将南ニツタノ時約百三十一封度モア
ク私ノ体重ガ救助サレ時ハ八十封度アタリ。収容所ノ食糧
ハ私達ノ健康ヲ保持スルハトモ礼分デナク何人カハ飢死シタ
デス。終リノ頃ハ一日ニ米七十五瓦シカ支給サレナカッタノデス。
一方サンカシニ至ッテ私達ハ飛行場テ勤メキタデスが如クヘテ

No. 1

収容所へ廻リ道路で飛行場へ行く道路ヲニ三造ツクリ
 シニキマシタ。 虫達ハ夜園、仕事ヤ新刷モシタノデス。 熱帯
 瘧疾ガ非常ニ厄介アリシマラヤレデハ一日七人ノ割合ア
 死シニキマシタ。 病人ヲ治療スル衛生材料ガナカッタデス。
 私ガサンカシラ去レ迄ハ既ニ約四百人ノ死ニ着ガアリ最
 ノ一團カ去レ進ニハ最初収容所ニ居タ一元〇〇人ノ内大凡七〇〇人モ
 死シニキマシタノデス。

私ハサンカシデア晝夜四十日間監房ニ入レシ共、間毎日
 打ナシメ、監房ニ午ノ間ハ私ハ顔ヲ光ヲコトモ撃ヲ制レコトモ
 許サズ七日間食物ナシコトモアリマシタ。 亦私ハ園ヲ破テ
 飛行場ノ外ハヒコリノ根ヲ採リ行アタシニ二十日間獄並
 ナシコトモアリマス。 採リ行ンテ採テモ所ヲ斬ル人ニ捕
 タス。 亦最初ニ我監サタハ病人ニ食ヲ與ヒ爲ニ管理部
 倉庫ニ侵入シタ爲デシタ。 亦ハゴラアア(前科リマカ
 ヒ)ノ他ハ全然衣類ヲ着セラセマシタ。 毎朝入監者ハ外
 出サレ日本人カ依テト言フテキタノヲマラサマシタ。 之ハヒ
 毆撃スルコトタタノデス。 此キ叶ヒナカラ他ノ人ニ監房迄運シ

ゴリヤニニ名バカリ罹リマシタガ後方ノ前哨ノ所ニ残サレ由ニ
丈夫ニテアカラセテ来マシタ。私ハ此ノ人達が来ルヲ見マシタガ
ソレハ凡ソ六週間モ経ツテカラテシタ。

ラノウデハ死セ者ガ沢山アリマシタガ、オク人飢餓未痢ヲ
リヤ、脚氣等ニヨルモシタ。私達ノ食糧ハ水テ存留屋ノ倉
庫ハ段々減少シテ行ツタゲス。

存留屋ハ屋敷打ナシマシタ。永井大尉ガ日本軍ノ收容所責任者シ
タ。或シ時兵ノムレノガ放物船ト云ツタ洋名ノ朝鮮人ノ警備員ト人
看護兵ニ銃剣デ刺サシマシタガ彼等ハ死体ヲ置キテ行ツテ銃剣
ニ油ヲ塗リテガフ帟ヲ来マシタ。二十日ノ内ニムレトアレトシタ
ソレニ私ハ四人ハモウ一歩行命シテ、クチニ行クコトニナラセマシタ。此
行軍ハ相方丈夫デアラコトガ必要デシタ。ソレテ私ハ日本兵ノ人
ニ炊事場ヘ入ラシテ、二連シテ行カントコトガヤラシテ日本軍ノ兵ノ置場
ガ何処ニシテカラ知ラセキマシタカラ、此ノ他ノ三人ニ私ガ炊置場ヲ見附
ケタコトヲ語レホ其処ハ其ノ他ニ大豆ガアルカモ知レヌトシマシタ。

No. 9 見付ケタビスケットノ一箱ノ口ヲ開ケタゲス。私達ハソノ置場テ何カ
ヲシタ形跡ヲ残シテモシタシ。日本人ハ水ヲテソレトハ分ラナカッタゲシタ。
唯私達ハソノ食糧ヲ四ツ分ケテ私達三人ハ自分達ノ分ヲシマシタ。中ノ高

シテ置キマシタガ、ハローハ自分ノ分ヲ取リ下ニ隠シテ置イタルデス。私ハ
 身ノ分ヲ病人ニ與ヘテマシタ。日本人ガビスケトノ袋ヲ見付テ
 誰モタト尋ネマシタ。私ハハローニ自分ノダト言ッタフオ前ハ
 殺サシコラ言ッテハイナイト事、ハローハナイト言ッタデスカハローハ
 返ニ食糧ヲ盡シタコトヲ認めマシタ。外側ニ縛リ付テ
 レマシタ。私ハ夜モラ行ッテ解イテヤシカラ一緒ニ逃セシヨウト言ッタ
 デスカ、午後五時頃彼ハ連レ行カレテ鈍剣ヲ刺サシマシタ。私ハ
 彼處ニ見付ケテワット探シマシタ。私ガ見付カリセシマシタ。私モラハ
 「ハロー、友人デレカガホ、モクム、友人デモアリマシタ。マモラハ私連
 ニヨク先ヲ持ッテ来テ又レマシタ。モクムハ守シマシタ。情報ヲ持ッテ
 来テマシタデス。

「ラウデハ毆打ハ毎日、出立事デシタ。前ニ名ヲ擧ケタ朝鮮
 人ノ全部ガ此ノ毆打ニ關係シテマシタ。

六月ニ萬ニノ長岡カヤ、テ長ク時ハタツタ四名ノ後洲兵トシカノ
 支隊兵ガ残リテモシタケレシタ。他人連ハ全部病氣ア死ニシタ
 カ又ハ殺サシタリシテマシタ。一九四五年一月ニ全部テ四八〇名
 ノ俘虜ガサンガカンラ出立シタルデスカ六月迄ハ生き残ッタルハ
 僅カニ六名タケレデ大抵ノ人ハ飢餓・マラリヤ・赤痢ア死シテマ
 タリデス。日本軍ノ衛兵連ハ内長・塩・砂糖ヲラ多量ニ取リ

會員健康狀況良好也。ニニマリヤニ罹リマシタガ衆養不良
 デ傷ンデ母ヲ若ハアリマセンデシタ。生キ残ッテ六名ハモクムト
 ストセー軍曹シニ英國人カニ名(ボラス、ト、フロスト)ト云デシタ。此ノ六
 人ハ現在生キ残ッテキレノハモクムト云デケテス。

一九四五年六月二八日、西ノ名ノ別ノ集團ガ、ヤンカシカラ、フナウニ到
 着レマシタ。シゴトモ停務ノ人トシテ此ノ集團ノ中ニ母ヲノデス。此ノ
 集團ガヤンカシカラ為シタ時ニハ六〇〇人キタケテスガ残りノ者ハ行
 軍中死ニシタノデス。七月ニ私カ述ビシ時ニハ此人達ノ中、凡ソ一〇〇人
 位カ生キ残ッテ母マシタガ其ノ時ニ彼等ハ一日凡ソ七名位ノ割合デ死ニシ
 テキアソレハ三ニ飲死タッタケス。彼等ハ一日ニ少サナコップニ煮湯
 フ杯刻支給ヤレテ居リ。飯ハコップノ底ニ一吋位ノモノデシタ。水ハ十分ニ
 アッタケス。日本人ハ自分達デハ一日ニ六〇〇瓦ヲ捕ッテ居リ。其ノ中ニ
 ヨクタバナカ。内、卯薩摩諸島モ捕ッテ居テ彼等ノ食糧不足ノ徴候モ
 アリマセンデシタ。死ニシタ停務ノ衣類ハ脱キ取リ及日取人ハソレヲ
 民ニマッテ自分達ガ食糧ト交換スルデシタ。私達ハヨク衣類ヲ
 日取人ニマッテ換ラリハコップ二杯ノ水ト交換スルカバナ、水ト交換スルカ
 シクモノデスガソレガ日取人ニカント同シ品物ニ對シテ土民カラバナ、水ナ
 モ獲キ上ルコトニシテシタ。又水モ取ラレテ土民ト交換シタケス。
 私達ハ一新ノ非軍ニサヤヤノ小屋ニ住ハシテ居マシタ。此等ノ漬瘍ガ

碧振ラ極メテ母マシクガ何病ニヨラズ子當ス衛生材料ハ全然ナク
 一デス.....

ニ名ノ表洲人ナリトクヤリハ、ヲナウカラ逃之ヲトシマシクガ
 抑ヘテヒドイ目ニ遮サレシタ。丸太ノ後子、脚ノ下マ膝ノ下ニ
 置テ日本人ガソノ上ヲ踏ミ、痛ミ、餘リビークキマタノデス。此ノ
 人達ハホ食ヲ與ヘラズ日人ハ銳利ノ先ヲ後母ノ両眼ノ間ニツキ付ケ
 タデス。日本軍ノ軍曹ガ私達ニ、クヒマリヲ小屋ニ連テ行ケトモ、
 タ明ニハ、クヤリハモウ殆ド死ニテキタデスガ小屋ニ帰テ十分モシテ
 死ンデシマシタ。彼自ハ鎖ガ巻カント居リ衣類ハ着テキママン
 デシタ。彼ハ二週間ノ間、屋外ニ置カレ食物ハ殆ド與ヘラズ匿リサリ
 ノエ民ハ誰デモヨク見エマシテ置カシタデス。此ノナキレキレ間
 ニ彼ノ健康ガ致々衰テ行ツタデシタ.....

.....
 一九四五年七月七日ニモクムトアムダースントシヨートト私ハ、ヨナウカラ
 逃之シマシタ。私達ハ餘リ美救シナイ中ニ逃ゲタカシタノデス.....

証據書 款次 五〇〇六 號

5006

ケース・ボタリン

私一九四三年二月十五日「シニカポール」で停居ニテリ。

「ヤンギ」ニ登載サレシマシタ。

一九四三年六月私「B部隊ト一緒ニ「ウビカ」デホルネオ」

ニ向テ「ヤンギ」ヲ出帆シマシタ。 吾々「サシタカン」ニ上

陸シ其処ノ收容所ニ一九四五年二月迄居リマシタ。

「サシタカン」デノ食糧「一九四三年」ノクリスマスマヌンマデ

ハ比較的ニヨカッタノデスガ其後悪クナリ出シタ「デ

ス。一九四四年」ノクリスマスマヌノ御馳走が仇ウラク

番ノ御馳走がウラケスガゾシ出タノハ米ト玉蜀黍

ニ乾菓子派ゼタノヲM4V・罐ニ半分ト豚汁デ

コト。普通ニ私達ニ支給サレタノハ煮タタピオカ

米ヲ少サナ罐ニ一杯ソレニM4V罐ニ約四分ノ三位

ヲ野菜ニタピオカヲト量加ヘテ作ツタコキユ一ダ

ツタテス。朝食ニ普通米デ作ツタ壓搾口糧ヲ

ニ支給サレ

晝食タ食ニハ雑炊ヲ支給サレテ牛マコト。仔席ニ

当時

ナツタ時約百三十二封度モアツタ私ノ体重ガ救助

サレタ時ハ八十四封度テコト。收容所ノ食

糧ハ私達ノ健康ヲ保持スルニハトテモ五分デナリ

何人カハ餓死シタノデス。然リノ頃ニ一日ニ米七十五

及こか支給サレナカワタルテス。

一カ所ニダカニ^在テ私達ハ飛行場ヲ働ケル

中タノデスガ加ヘテ收容所ノ廻リノ道路ヤ飛行場ヘ
行ク道路ヲニ、三造ワタリシテオマシク。私達ハ菜

園ノ仕事ヤ薪割モシタルテス。熱帯瘧疾ガ非常ニ

厄介デシタニマラリヤデハ一日ニ七人ノ割合テ死

亡シテオマシク。病人ヲ治療スル衛生材料ガナ

カワタルテス。私ガサニダカニテ去ル~~迄~~迄ニ既ニ^{四〇〇}数千人

ノ死亡者カアリ最終ノ一團ガ去ル時ニ最初收容

所

七〇〇

所ニ~~4~~由人~~井~~内大凡~~七~~由人モ死セシテオマシク

一九〇〇

P

ノテス。私ハ「サニダカニ」テ晝夜四十日間監房ニ入レラ
シ~~キ~~其ノ間毎日改打サシマシ知。監房ニ

井ノ間ハ私ハ顔ヲ洗フコトモ髪剪ヲ剃ルコトモ許サシ
ズセ日間食物ナシノコトモアリマシ知。亦私ハ

園ヲはつテ飛行場ノ外ハ夕ピオカノ柵ヲ採リニ行
ツタム為ニ十二日間投監サシタコトガアリマス。採リ

ニ行ツテ歸ツテ来ルトコロヲ朝鮮人ニ捕マツタノ

デス。私が最初ニ投監サシタノハ病人ニ念ヒテ與ヘル

為ニ「經理部」ノ倉庫ニ侵入シタム為デシタ。私ハ

ラアアア（前掛ノヤウナニ）他ハ全然衣類ヲ着セ

ラシマセシテシタ。毎朝入監者ハ外へ出サシテ日本人

ガ体操ト言フテサタノヲヤラサシマシタ。之ハ

ヒドク殴打スルコトガツタノデス。泣キ叫ビサカウ他ノ

人ニ監房迄運ニテ世見ハナケレバナラナイ侍屬セア

リ、或ル者ハ打倒シマシタガ蘇生サセル爲ニ折倒シ

身者馬穴デ水ヲ打掛テルノデシタ。私ガ監

房ニ井夕時ニ他ニ十七人監禁サシテ井マシタ。

監房ハ大凡九呎ニ十八呎デ私達全部が一纏々

櫛ニナルコトハ出来マセシテシタ。私達ハ櫛ニシテ櫛

ニナル時デ元四人ハ坐ツテサナケシバナラナカフタノデス

近ク同ラ語ナキ

約五名ノ濠州兵が或期間禁錮ノ宣告ヲ受
シタリ。クツク大尉が此ノ人達ニ比ノ刑ヲ課スルヤウ請
求シタルテス。ソシテ私ハ時ニ日ニ三四回モ監房へ
彼等ヲ見ニ行クテ申マシム。彼等ニハ各自ニ毛
布一枚宛渡クテ申マシムガ、ソレハ入監者ノ中ニハ
死ニカケテ申シ者ガ毛布ヲ渡シテ居カナイレド入監者全
部が同じ様ニナルト思ワシムカウデシム。五名ガ監禁
サシム申シ監房ハ長サガ約二十呎、幅ガ約十呎ヲ日本
兵ノ衛兵所ノ側ニアリマシム。收容所~~ニ~~監房ハ全
部テ三ツアリマシムガ、何レモ高サハ五呎位ニカケリ

入監者、眞直グニ立ツエトが出来ナカワタリテス。

兵ノアニネアト「アニダートソン」ソレニバンクロフト軍曹ハ

収容ノ全

サレユトニ

戒期間ヲ禁錮、宣告ヲ受テタノデスガ此等三名ハ

約三月間ニテ死ンデシマヒマシタ。一九四四年中ニ「アニネア」

ト「アニダートソン」ハ獄中生活ノ方が獄外生活ヨリ長カワ

タムテス。最初ノ入獄ハ二十日間デソノ間ハ私モ彼等ト

一緒ニ入獄シテキマシタ。次ハ四十日間ノ入獄、續イテ

又モマ約六週間入獄シタムテス。彼等ハ出獄スルト亦

繰返シ入シラシ出獄シテキムトガ強ニドアリマセンデシタ。

彼等ハ病人ニ食ヲ與ヘル爲ニ経理部、倉庫ニ侵入シタ

廣デ告發セシタトシタ。 倭軍ハ兵士^ノフシツクニ食物ヲ

ヤツタルテス。 ^ノグシツクハ若シ倭軍ニ即テ^テモ^ハハ^シル^ル死

ンデ升タテセウ。 併シ後ニテツテ^テグ^シハ^ハ死^ニマ^シタ。 倭ハ在時ハ

赤痢上^マラリヤ^テ苦^ンデ升^タノ^デス。

毆打サシタ幾人カノ在監者ハ非常ニ弱^クテ^キ居^リ

病氣^デシタ。 病人ハ他ノ者ヨリ一層ヒドク毆打サシマ

シタカ其ノ理由ハ日本兵ガ病人ヲ嫌^ミテ居^リ病人ハ厄

介者トシテ升^タカラ^テス。 棒ヤ銃床^デハ突^キ廻^サシ

タノ^デスガ地面ニ倒^レルト朝鮮人ガ蹴^リ飛^バシ朝鮮人

ハ時ニ^ニ軍丸ヲ蹴^ツタリ^トシ^テノ^デス。 折々朝鮮人ノ命

令デ気ヲ付テノ姿勢ヲ立タセマシムルガ、朝鮮人達ハ膝ヲ

止メテ軍ヲカヲ蹴ル~~ル~~テス。倒レルト蘇生スル迄水ヲ

打ケ掛ケラレ蘇生スレバ亦政~~ヲ~~打カ續クノテス。

私ハ兵ノガ^リリニゲトシテ知ッテ井マ~~キ~~ガ^ス彼ガ

叩キノメサシク時ニ私ハ收容所ニ井タノテス。彼ハ

最初飛行場デ叩カレソレハ私ガ實際ニ目撃シテノ

テスガ更ニ監房ニ行ッテカラモ叩カレタ^リキス。此ノ

当時、倭虜達ハ全然何モ悪イコトヲコナ^イニ改ラシ

タノテス。一人ノ倭虜ガ自分ノ額ノ汗ヲ拭^リ為ニ起

上ツタソルト衛兵ガマツテ来テ私達全部ヲ整列セ

細長イ答ロテ私~~道~~ノ背中ヲパイニ叩クト言フ風デシ

又、ガリリントニハ若シ何モ~~事~~ニ毆ツタラ毆アリ

返シテヤルノダト言フテ井マシタガ此ノ時ニハ何モ~~事~~ノ

ニ毆ラレタシタ~~ル~~テ~~は~~ハソノ衛兵ヲ拘~~レ~~退~~ケ~~マシタ

処カ他ノ衛兵ガ全部ヤツテ来テガ~~リ~~リントシ~~テ~~

毆リ始メタノデス。衛兵遠~~リ~~ガ~~リ~~リントシ~~テ~~ヲ打ケノメ

シテ打ツタリ蹴ツタリシタノデス。彼~~等~~ニソノ膝ノ下ニ

丸ヲ入シテ坐ラサセマシタ。……

……

……深島ハ病人ヲ無理ニ作業ニ引キ出シタ~~リ~~

ン

其時ニハ病人ヲ寢床カウ引キズリ出シサヘンタムテス。

此ハ作業隊ノ人達ヲ毎日何十人トナク改ワテオマシ

タ。此ノ人達バ此ニテ取扱ヲ受ケタノテソノ結果木澤山

ノ人が死ンダムテス……

一九四五年二月私達ハ三日間ノ豫告ヲ受ケテ、ソナウ

ヘ向テ一日ニ五十名宛サシダカンシヲ出發スルコトニナリマ

シタ。全部デハ三百五十名ノ濠州人ト百二十名ノ英國

人が居リマシタガ、私ハヤ三番目ノ組デシタ。私が出

發スル時ニハ既ニソノ組ガ五ツテオキタス。私達ト

一緒ニ出發シタ日本兵ハ中(少)尉ガ一名、曹長ガ一名

伍長が一名、下士官勤務兵長が一名、ソレニ兵が約
十五名デシタ。私達ハ自分達ノ衣類、毛布、敷物、
食糧等ノ他ニ日本軍ノ弾薬ヤ米ヲ運搬サセラシマシタ。
私達四十名デ三日間ノ食糧トシテ僅カニ本ノ胡瓜ニ
カナカワタリデスが私達ハ少量ノ米ヲ所持シテ升マシタ
トテ、ソレデ命ダケハワナゲマシタ。疲シ果テ、行軍が
出来ズ、~~一~~落伍シタ者モアリマシタガソレハ直グ射殺
サシマシタ。私ハ四人ノ俘虏ガ落伍シテ射殺サシタノヲ
見タコトガアリマスガ射殺シタノハ日本軍ノ曹長
デシタ。
或ル時一人ノ濠軍ノ軍曹ガ行軍ガ出来ズ

倒シテシマヒマシタ。

彼ハ頭が変ニナツテヤウデ

ワリニゲトシニ曹長ヲ擲ヘテ自分ヲ射殺シテクシ

ト頼ニデオマシタ。日本軍ノ將校ハ出来ハ丈ケ多クノ

俘虜ヲ救ハウトシテオマシタガ軍曹ハ脚氣ニ罹リ

テオテ余リニモ衰弱シテ尻リモウソシ以上ハトテモ

歩ケマセシゲシタレ濠軍曹長ニ彼ヲ射殺スル許可ヲ

出スヤウ頼ニダシテス。ワリニゲトシハ許可證ヲ書キ

マシタ。スント日本軍將校ハ彼ヲソノ拳銃ヲ渡シ

軍曹ヲ射テト言ヒワリニゲトシハ言ハス通りニシマ

シタ。ソノ出来事ハサニダカニカウ十ニ六軒離シタ地点デ

起コツタノデス。 軍曹ハ終始モガキ争ヒ全ク気が狂ッ

テシマヒマシム。 彼ハ腰カウ下ハ麻痺シテ平タノデス。

彼ハ運ニデハ貫フマイトシテ彼ヲ救フヤラトス。

~~人達トモガキ争ッテギス。~~

私達が「ラナウ」へ後一週間ト言フ所へ来タ時ニ

大キナ山ヲ一ツ越シマシム。 ソノ山ヲ越シテ平ル時

ニ濠州兵ガニ名(兵ノ)ハンフリース(名)前ハ思ヒ

出セマセンガ事ウ一人ノ伍長ガ落伍シマシム。 彼等

ハ脚氣トマラリヤト赤痢ニ罹ッテ居リ行軍ガ出

来ナイ程重態ヨサツギシム。 日本軍ノ兵ガソノ伍

長ヲ射殺シ、日本軍ノ軍曹ガハニフリースヲ射
殺シマシタ。アノ山ノ中デ「私達」全部デ五名失
ヒマシタ。

ノ途次

行軍スルヤウシテ衰弱シテ行軍不能ニナリテ者
シタノテス。
ガ蒸伍ニキ付クナリス。五口々ガ行軍ヲ續ケテオハ

トスダ後デ銃聲ト口論ノ声ヲ聞クノデシタ。ソノ
十時ニハヤラス私達後ニハ日本人ガ居リ、射撃シタ

ノハ彼等ダツタノデス。死体ハ見掛ケマセニデシタガ

私ハ屢々私達ノ前ニ行軍シテ行ツタ組者由

ノ誰カバ射殺サシタ死臭ヲ嗅ゲエト出来マシタ。

私達がラウナウニ着イテから
~~私達は私、衛兵~~

~~ハ~~ 孤遺隊ノ員ニシテ
ハ 孤遺隊トモナリ

カラ来ル部隊ト日本軍ノ為ニ来テ
撥中キハ旭ヘラレシ

~~ノ~~ サンダカンレヘ通ズル道ヲ
ニシテ 後方 孤遺

サシタムデス。 此ノ道程ハ
往キガシハデ 歸リガニリテ

五リカメルノデシタ。 ラウナウニ
行軍ニテ来ルニ三ツノ

組ガ此処ニ滞在シタムデスガ
私達が来テ運シタノハ

其等ノ組ト日本軍衛兵ニ食ベサセ
ル為タツタムテ

ス。 私達ハ各自 四十五封度ノ
来ヲ一袋背負ツテ

山ヤ湿地ヲ越ヘテ運バシケレバ
ナラナカフタノデス。 條件

行つタモノデス。夕ピオカラ料理スレバ旨イ御馳走ガ出来

夕モノデソノ為ニ私ハ收容所ノ中デハ一番丈夫ノ方デシタ

カ行ハシタ時

此ノ新殺サレシ射殺サレシ時ニアリハ地上ニ倒シテ

儘

中ナカヨモ射タナイテ下サウト叫ビテガラ両手ヲ挙

其

ゲテサタオモガソレデモ射レ地上ニ轉リ儘

置イテ行カシタモノデス。

サニダカンレウミツ私達ノ組五十名ノ内ヲナリ

ニ着イタノハ三十七名デシタ。此ノ行軍ハ毎日ゴフ績

ケニ先ヲ急イダノデスガソレデモ十七リカ、リマシタ。

私達ト一緒ニ来タ日本兵達ノ健康状態ハ頗ル良好デ

ヲ持ツニ年

行軍中私達ヨリモ多クノ食料

ニ名ハカリ

嘉マラリヤニ罹リマシラガ後方ノ前哨ノ所ニ残

後ニ丈夫ニ

後ニ乗リ上ル木丈ホト思フヤリキナクテカラヤワテ

来マシタ。私ハ此ノ人達が来ルノヲ見マシラカソシハ大

凡六週間モ経ツテカラテシタ

ヲナウテハ死セ者ガ澤山アリマシラガ、多クハ

ニヨルモノテス

飢餓・赤痢、マラリヤ、脚氣等ヲ死マシタ。私

達ノ食料ハ未ダ、俘虜達ノ体重ハ段々ニ減少シテ

行ツタノデス。

日本軍ノ

俘虜達ハ屢々改打サレマシタ。永井大尉が收容

責任者 テンダ

所主 ~~日本軍將校~~ 或ハ所兵ノカレレシガ

尻

家鴨ノ年 ~~書~~ 通ト云フ 薄名ノ朝鮮人ノ警備員ト

一人ノ看護兵ニ銃剣ヲ斬サシマシタガ、後等ハ死体

ヲ墓地ニ持ッテ行ッテ銃剣ニ油ヲ塗リリナガウ帰ッ

テ来マシタ。 二十日、内ニ^ヲトア^レシ^トトグリス^トシ

ソシニ私ノ四人ハモウ一度行軍シテク^チニ行クコト

ニナツテ来マシタ。 ~~此~~ ^{此ノ} ~~行軍~~ ^{ニハ相当、} ~~所~~ ^来

テアルコトがゆ^ニ西セ^テアツ^タ。 ~~先~~ ^{ソシテ私}

日本兵ノ一人ニ炊事場へ来^テ運^ブニ連^シテ行^カシ

コトガアルノテ日本軍ノ米ノ置場が何処ニアルカヲ

知ワテキマニクカラ此ノ地ノ三人ニ私ガ米ノ置場ヲ見付
ケタコトヲ証シ其処ニハ其ノ他ニ大豆ガアムカモ知シナキト
言ヒマシタ。

~~果カモシギキ。~~ 夜ニナツテカウ彼等ハ其処ヘ行クニ米ヲ
一袋取リ私ハ私達ガ更ニ其処デ見付ケタコト止

ノ一箱ノ口ヲ開ケタムテス。私達ハソノ置場デ何カラ
シタ形跡ヲ残シマセンデシタシ。日本人ハ決シテソレト分ラ
ナカッタデシヤウ。唯私達ハソノ食糧ヲ回ワシ合ケ

私達三人ハ自分達ノ命ヲツヤシグルノ中ニ隠シテ
置キマシタガムレシハ自分ノ命ヲ家ノ下ニ隠

シテ置イタムテス。私ハ自分ノ命ヲ病人ニ與ヘテ井

マシタ。日本人がビスケットノ袋ヲ見付テテ誰ノモノナ
ト尋ネマシタ。私ハ「ムシ」ニ自分ノダト云フタラ
オ前ハ殺サシルカウ言フテハイケナイト云フタリ
デスが「ムシ」ハ遂ニ食糧ヲ盗ニダコトヲ認メマシ
タ。テ衛兵所ノ外側ニ縛リ付テラシマシタ。私ハ夜ニ
ナワタラ行クテ解クテヤルカラ ~~一~~ 一縷ニ逃セシヤウ
ト云フタノデスが。午後五時頃体ハ凍シテ行カシテ銃剣
デ刺サレタノデス。私ハ彼ノ死体ヲ見付ケヤウト探シ
タノデスが見付カリマセシデシタ。 ~~メ~~ ~~モ~~ ~~ウ~~ ~~シ~~ ~~ハ~~ ~~ム~~ ~~シ~~ ~~ハ~~
友人デシタガ亦「モクソム」ノ友人デモアリマシタ。 ~~メ~~ ~~モ~~ ~~ウ~~

ハ私達ニヨク来ヲ持ッテ来テ呉シマシタシ、モクソムシニ
ハ一寸シク情報ヲ持ッテ来テ井タムデス。

ラナウデハ政打ハ毎日の出来事デシク、
前ニ並ナク

朝鮮人ノ全部此ノ政打ニ関係ンテ井マス。

六月ニ第二ノ集團ガヤッテ来タ時ニハタツタ四名ノ

濠洲兵トニ名ノ英國兵ガ残ッテ井ンダケデシク、他ノ

人達ハ全部病氣デ死^{セシカ又ハ}殺サレタリシテ井タムデ

四八〇

る。一九四五年二月ニ全部デ軍中ノ名ノ倅を掃ガサン

ダカンシラ出テシタムデスガ六月迄ニハ生キ残ッタノハ

僅カニ六名ダケテ大抵ノ人ハ飢餓、マラリヤ、赤痢

テ死ニデキタルデス。日本軍ノ衛生兵達ハ由、米、塩、

砂糖等ヲ多量ニ攝リ全員健康状態が良好デ

シ。ニ、シマウリヤニ罹リマシタガ栄養不良デ猫ニデキ

タ者ハアリマセシデシタ。生キ残ツタ六名ハ「クソム」^{クリス止}

ステセー軍曹」ソレニ英國人が二名（「ホワグスト」^{フロスト}）

ト私デシタ。此ノ六人ノ内現在生残ツテキルノハ「クソム」

ト私デケデス。

三ハ一四〇

一九四五年六月~~中~~名ノ別ノ集團がサシガカン

カウヲナウレニ到着シマシタ。此ノヨリ上ニモ停属ノ一人

トシテ此ノ集團ノ中ニキタルデス。此ノ集團がサシ

カカンシヲ出發シテ時ニハオビ人オタリテスガ残りノ者
X000

ハ行軍中ニ死セシタノデス。七月ニ私カ逃セシタ時ニ

100人

ハ此ノ人達ノ中凡ソオビ位未ダ生キ残ワテオマシ

タガ其ノ時ニ彼等ハ一日凡ソ七名位ノ割合ヲ死セシテ

平テソレハ^主車ニ餓死ダツタリテス。彼等ハ一日ニオササ

ナコッポニ重湯ヲ一杯宛テ給サシテ居リ、飯ハコッポノ底

ニ一時位ノモノデシタ。米ハ充分ニアツタリテス。

日本人ハ自分達デハ一日ニ~~オビ~~瓦宛攝ツテ居リ
X000

其ノ他ニコウ^ウ夕ピオカ、肉、卵、薩摩薯等モ攝ツテ

オビテ栄養不良ノ徴候モアリマセシデシタ。死セシタ

俘虜ノ衣類ハ脱キ取ラシ日本人ハソレヲ土民ニヤツ
テ自分達が食ベル食糧ト交換スルノデシタ。私達ハ
ヨク衣類ヲ日本人ニヤツテ取ラクハコソカニ一杯ノ米ト交
換スルトカバナニ本ト交換スルトカシタモノデスガ
ソレガ日本人ニカハルト同じ品物ニ対シテ土民カラバナク
六十本モ捲キ上ゲルコトニナルノデシタ。毛布モ取ラ
セテ土民ト交換サシタノデス。

私達ハ一軒ノ非常ニヤサナ竹ノ小屋ニ住ハサレ
テサマシタ。熱帯潰瘍ガ猖獗ヲ極メテサマシタガ
何病ニヨラズ平當ニ衛生材料ハ全然ナカクタノ。

デス。――

ニ名ノ豪州人。クリトストクレアリハラウシカウ

逃セシヤウトシマシタガ捕ヘラシテヒドイ目ニ逼ハサシ

マシタ。丸太ヲ彼等ノ脚ノ下ヤ膝ノ下ニ置イテ日本

人がソノ上ヲ踏ミ痛ミノ餘リヒトク言ハセタノデス。

此ノ人違ハ亦食ヲ與ヘラズ。日本人ハ銃劍ノ先ヲ彼

等ノ両眼ノ間ニツキ付ケタノデス。~~カ~~日本人

ノ軍曹が私達ニクレアリシヲ小屋ニ連シテ行ケト

クレアリハ

言ツタ時ニハモウ強シド死ニテ井タノデスガ、小屋ニ歸

ワテ十分モシテ死ニテシマヒマシタ。 彼ノ首ニハ鎖ガ巻カ

シテ居リ衣類ハ着テ井マセデシタ。 彼ハ二週間ノ間

屋外ニ置カシ食物ハ強ニド喰ウハラズ、 通リスガリノ

土民ハ誰デモヨク見ラレシヤウニシテ置カシタデス。 此ニ

ナニサシテル間ニ彼ノ健康ガ段々衰レテ行ツタデシ

タ。

.....

一九四五年七月七日モウソムト「アングーソン」トシヨ

トト私ハ「ラナウ」カラ逃セシマシタ。 私達ハ餘リ衰

弱シナイ中ニ逃ゲタカワタムテス。

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

EVIDENTIARY DOCUMENT NO. 5006 IS ONE OF THOSE
ASSIGNED A NUMBER FROM THE BLOCK OF NUMBERS GIVEN
TO St Col. Norman WHO OBTAINED THIS DOCUMENT
FROM: Legal Sec.

THE ORIGINAL DOCUMENT IS TO THE BEST OF OUR KNOWLEDGE:

returned to source

W. K. Kishida
FILES UNIT.
Document Division